



技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター夏季号<第20号>(平成6年 6月15日発行)

◇巻頭言

技術士の相場

新井城 精一 (九州地方技術士センター副会長・建設部門)

「よどみに浮かぶうたかたはかつ消えかつ結びて」とは方丈記の一節である。ついこの前まで、アメリカを席卷していた日本の自動車、日本型経営システムは“うたかた”にすぎなかったのだろうか。本屋の店頭を埋めつくしていた日本型経営の本はいつか姿を消し、今や、アメリカ帰りの“リ・エンジニアリング”的本に占拠されてしまっている。

ところで、最近アメリカの企業が元気をとりもどし、日米が逆転したと言われている。日本がバブルに浮かれている間に日本型経営システムをしっかり吸収し、発展させ、リ・エンジニアリングを確立したからである。それを契機にアメリカは逆襲に転じた。モトローラ社の移動電話の日米交渉では政治力を背景にした腕力の誇示が目についた。「50年ぶりの無条件降伏」と週刊誌で酷評されたものである。

激動の時代にあって、バブルの頃から変わらないのが二つある。一つは円高であり、もう一つは日本の市場開放を求めるアメリカの圧力である。これだけ不景気になり、政治が不安定になっても円高が続いているのが不思議でならないが、国際収支の黒字体质が無くならない限り、円高は続くようである。アメリカの圧力としては、数年前の構造協議のなかに内需拡大策としての公共投資の拡大と独禁法違反としての談合問題があった。

公共投資の拡大のおかげで建設コンサルタント業界は不況知らずであり、求人難が続いている。アメリカの圧力のおかげとは、いかにも皮肉である。談合問題では痛い目にあった。談合は日本の業界の閉鎖性を示すものとして厳しく指弾されてきたが、なぜか消極的な対応でしかなかった。しかし、折り悪く、ゼネコン汚職ともからんで世の批判を浴び、根こそぎ粉碎されてしまった。指名競争入札は談合の温床になるとして、一般競争入札へと変更を余儀なくされてしまった。

一般競争入札は、一定金額以上という条件付きであり、地方のコンサルタントには直接的な影響はすくないかもしれない。しかし、入札制度の変更の基本的視点が、安ければ良いというのではなく、技術力に応じた実力本位の発注を目指すものであり、今まで以上に技術力に対する審査が厳しくなり、それに対応して、技術士、RCCMの位置付けも明確化していくはずである。地方のコンサルタントにとっても、技術力の充実が急務である。

さて、技術士の相場について宮崎の場合を御紹介しよう。県内の建設コンサルタント登録の内訳は、技術士21、認定10、一級建築士13である。44社のうち過半数が技術士以外で登録されているが、逆転は時間の問題である。認定は増えることがないうえに既に老齢化しており、一級建築士は登録していても指名がもらえないで、魅力に乏しく、しかも、76歳ぐらいで交代をせまられているからである。

登録更新におけるこれら認定・一級建築士の交代要員も含めて、技術士の絶対数が不足しており、県外からの導入が相次いでいる。ちなみに、県内の技術士の相場は、合格の祝金100万円、月々の手当7万円、登録のための技術士の月額は20万円程度のようである。

宮崎県では数年前から、技術力に応じた実力本位の発注がなされてきた。登録業者の中でも本当に技術士の居る業者は選別され、評価されてきた。今度、入札制度が変わり、このような技術力に応じた実力本位の発注が全面的な流れとなっていけば、技術士に対する需要は一段と高まりそれとともに技術士に対する評価も高まっていくはずである。

1人でも多くの入会をお勧め下さい † 私の提言

「環境問題に積極的に取り組もう」

— Y C E 福岡 2周年記念講演会を終えて —

辻 幸英（福岡・建設）

Y C E 福岡は、福岡近郊の若手技術士の集いで、2ヶ月に1度の定例会を持ち、出席者全員の1分間スピーチ、ノウ・フー（人を知る）、持ち寄り議題の討議などを中心に運営されている。

平成6年3月12日、博多エクセルホテル東急において、創立2周年を記念した講演会と懇親会を開催した。

講演会では、減農薬稻作運動をはじめ、農業における経験の理論化を目指している、福岡県糸島農業改良普及所の宇根豊先生の『人間にとて自然とは何なのか』という講話と、先頃、世界トップレベルの大型ロケットの打ち上げに成功した、宇宙開発事業団、種子島宇宙センター所長の菊山紀彦先生による『H-II翔んだ、未来への旅立ち』という講話を拝聴した。

宇根先生は、害虫防除のため大量の農薬を散布してきた稻作で、虫見板という害虫と益虫の絵を印刷した黒いプラスチック板を使い自然の摂理を利用することで、減農薬が可能であることを説明された。田圃の虫は、人間との利害関係により、益虫と害虫に分類されるが、利害がないと思われるただの虫も多い。稻作の初期に農薬を散布すると、すべての虫が死んでしまい、次に害虫が大陸から飛来した時に、天敵がないため、害虫が大量発生する。ただの虫は害虫が飛来するまでの益虫のエサとして重要で、ただの虫のいない田圃では益虫が増殖せず、害虫の大量発生を招く。虫見板により、田圃の虫の種類や数を観察することで、農薬の散布量を減らすことが可能となるそうです。

菊山先生は、科学技術の最先端の立場から／＼

ノロケット打ち上げには、12ユニット一数百万点におよぶ部品が正常に作動する環境が必要で、これを構築するのは人間である。ヒューマンエラーは必ず起こるという前提で、ミスを犯した担当者をしからず、指示やシステムの不備をチェックするために有効利用する方法。エラーが発生した時、全体を止めずに原因となっている一部のみを止めるシステムの作り方、など大変興味深い話をされた。

また、宇宙から見た地球は大変美しい。これは巨大な包容力を持つ空気の層と海のおかげで、火山の爆発、戦争、原発事故等の破壊的行為があっても、生物が全滅することなく今日に至っている。しかし、空気の層はとても薄く、近年の化石燃料の大量消費やフロンの使用により傷んでいる。現代人が地球を滅亡させることがないように努力すべきであると熱心に話された。

Y C E 福岡ではこの1年間、環境・ゴミ問題について討議を重ね、専門の先生をお招きしてミニ講演会や意見交換会を催してきた。たくさんの分野の専門家のお話しを聞き感じたことは、「世界の最も重要な問題の1つである環境問題に対して、開発反対、発展ストップという自然保護の立場の他に、技術者として、独自の立場や異業種の交流による新技術で解決する方法が必ずあるはずだ」ということである。

これは「人と人が出会い得意な知恵を出し合うことで、まったく予想もしなかったすばらしいひらめきを生み出す。ひらめきを個人だけでなく、仲間や地域社会の発展に貢献したい」というY C E 福岡のモットーそのものである。

（講演会の様子は3ページの写真参照）



Y C E 福岡 2周年記念講演会

日本技術士会近況

原井 東男 (理事・九州支部長)

平成5年度第6回理事会議事録

1. 日時 平成6年3月16日(水) 10:30~
2. 場所 日本技術士会会議室

○審議事項

平成6年度会長表彰選考基準(案)について。倫理委員会が提案した標記の件の審議結果。
 ①平成6年3月31日時点で通算満10年以上在籍している者。
 ②本会の発展に顕著な貢献のあった者。
 ③過去において会長表彰を受けていない者。
 ④支部・部会から推薦を受ける人員は、3月31日現在の会員数に基づいて下記の通りとする。

200人以下は1名以内

☆試験地図結果表

地域	受験申込数 人	受験数 人	合格数 人	対申込合格率 %	対受験合格率 %
総数	18,187	10,220	1,609	8.8	15.7
札幌	798	368	50	6.3	13.6
東京	8,844	5,114	896	10.1	17.5
大阪	3,503	2,052	307	8.8	15.0
福岡	1,369	685	94	6.7	13.7
名古屋	1,275	739	104	8.2	14.1
仙台	1,022	521	56	5.5	10.7
新潟	501	269	36	7.2	13.4
広島	875	472	66	7.5	14.0

201人以上400人以下は2名以内
401人以上は3名以内

○報告事項

平成5年度二次試験結果について

☆部門別結果表

部門	受験申込数	受験数	合格数	対受験合格率
機械	706人	422人	71人	16.8%
船舶	6	5	2	40.0
航空宇宙	21	18	5	27.8
電電子	1,302	731	89	12.2
化学	145	120	21	17.5
繊維	74	49	16	32.7
金属	116	73	24	32.9
鋼工学	15	10	6	60.0
建設	11,511	6,302	981	15.6
水道	1,247	638	101	15.8
鋼工学	724	415	64	15.4
農業	546	269	70	26.0
林業	139	75	20	26.7
経工学	195	131	18	13.7
情報処理	406	252	54	21.4
応用医学	970	667	58	8.7
生物工学	17	14	6	42.9
水産	47	29	3	10.3
合計	18,187	10,220	1,609	15.7

<次ページにつづく>

<本部近況 つづき>

◎第13回地方職員との合同セミナー結果

日時：平成6年2月16日（水） 13:00～

場所：札幌市内

主題：「地球にやさしい地域整備の
あり方を考える」

プログラム

特別講演：技術環境の変化と地域振興
北大名誉教授 長岡金吾

話題提供：コーディネーター
(財)北海道地域振興機構
常務理事 平工剛郎

「河川環境のあり方」 道河川課係長

「都市域での水の循環を担う下水道の
新しい役割」 市下水道局課長

「エネルギーと地域整備のかかわり」
道電力技術開発グループ

「生活工房サッポロファクトリーにお
ける環境との調和」
大成建設（株）設計部

ディスカッション：

話題提供者の4人と農業部門・情報処理部門より各1名参加し6名にて行う。

総括：コーディネーターが担当する。

以上議論の主要部のみ抜粋し報告します。

◎平成5年度第3回支部長会議事録

日時：平成6年4月13日（水）15:00～

場所：仙台市

○議題

1. 北海道支部=役員選挙の改正について。
2. 東北支部=支部事務局の運営状況について各支部の状況説明を願いたい。
3. 中部支部=事務局運営で管理費の一部を本部負担願いたい。
4. 近畿支部=「講演会・見学会補助費」の改正について説明を求む。
首都圏支部について意見を求む。
5. 中四国支部=過去の提案議題で結論の出でていない重要案件について討議しては如何か。
6. 九州支部=役員選挙制度の改正の審議状況について中間報告を求む。

以上の提案に従い審議・討論した結果を要約すると次の通り。

（1）選挙制度の改正について

役員選挙制度改正に関する臨時委員会中間報告

○主な意見

- 1) 役員候補者は支部長又は部会長の推薦となっているが、希望する人が自由に立候補する道はないか。
- 2) 会に対する貢献度（所属会員数など）で役員選出を考えるべきではないか。
- 3) 立候補者の資格に制限が要るのではないか。（会員歴、その他）
- 4) 会長選出については一般役員選挙制度の検討と別に検討すべきでないか。
- 5) 自由選挙制（支部、部会の意見は支部長会議、部会長会議で反映すべきである）

- る。)
- 6) 部門の独立性よりも融合性が必要で、部会による理事構成の主体は好ましくない。（2回までの審議）
 - 7) 候補者の推薦数の制限は除くべきである。
 - 8) 自由立候補に問題はないか。（支部、部会の運営責任者の立場で考えた場合、客観的に推薦したい人と自ら立候補を希望する人とは必ずしも一致しない場合があろう）
 - 9) 最低得票数については理論的根拠が必要であろう。
 - 10) 支部は地方に於ける本部のミニ的存在であるが、関東に支部が望まれない現在、職域代表理事（部会）と地域代表理事（支部）として選出しては如何。
 - 11) 理事の定数を30名以上に増員することは、非能率の運営になろう。
 - 12) 会長、常任理事及び理事の定数の改正は定款の改正を伴うが、今回は検討対象にしない。
 - 13) 立候補者の資格は、原則として5年以上の在籍、会費完納者。（原則を入れること）
 - 14) 立候補の推薦は、本部又は支部の認める活動グループの会員10名以上の推薦を必要とし、推薦者は2名以上の立候補者を推薦してはならない。
 - 15) 役員選挙制度の整備制定。
 - 16) 小部会よりの理事の選出のあり方。
なお、各支部長よりの意見を4月末までに提出することとなった。

<次ページにつづく>

<本部近況 つづき>

(2)事務局の運営状況について

各支部特性があり同一視することは出来ない。管理費の一部負担は本部としては出来ないがコピーや発送事務等は手伝えると思う。(保坂専務意見)

基本的には財務委員会へ提議されたい。

(3)関東圏支部について

千葉県技術士会の取り扱いについても未だ結論が出ていない現状であるので政策

委員会の回答を督促のうえ再度同委員会へ支部長会議意見として提案してはどうか(保坂専務意見)

(4)各種行事予定について

全国大会=H6近畿、H7北海道、H8

東京、H9九州、H10北陸

合同セミナー=H6九州・中四国・中部

支部長会議=H6北陸・北海道・中部

H7九州・中四国・近畿

以上

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

ア 行事・会合などの報告

◎支部・センター行事

1. 平成5年度会計監査

日時:平成6年4月16日(土)13:00~16:00

場所:博多第一ホテル

出席者:支部長外6名

平成5年度支部・センターの収支決算及び事業報告書備品目録・剩余金処分案について会計監査

2. 平成5年度第2回合同役員会

日時:平成6年4月23日(土)13:00~16:00

場所:福岡商工会議所604号

九州支部定員29名、出席21名、委任状4名

九州地方技術士センター定員32名、

出席19名、委任状10名

○審議事項

(1)平成5年度会務及び事業報告について

(2)平成5年度決算及び監査報告について

(3)平成6年度事業計画(案)について

(4)平成6年度収支予算(案)について

／ (5)その他総会に提出する議案について

3. 平成6年度第29回定時総会

日時:平成6年5月28日(土) 13:30~16:00

場所:福岡商工会議所605号

出席支部会員数 249人

出席会員数 47人

委任状会員数 103人

センター会員数 628人

出席会員数 76人

委任状会員数 269人

○審議事項

(1)~(5)第2回合同役員会と同じに付き省略す。

○卓話 16:10~17:00

「魚にやさしい河川環境づくり」

赤崎魚類研究所長

農学博士技術士(水産)赤崎正人先生

○懇親会 17:20~19:00

福岡商工会議所605号

ア 支部・センター委員会・部会だより

◇総務委員会(重富委員長)

1. (社)日本技術士会中・四国支部、

沖縄県技術士会、九州支部合同研修会

日時:平成6年7月29日(金)13:30~21:00

／ 場所:研修会場 福岡市博多区博多駅前

4-11-8

博多パークホテル

TEL 092-451-1151

見学会場 トヨタ自動車九州

宮田工場

<支部・センター委員会・部会だよりつづき>

スケジュール

13:30 J R 博多駅筑紫口集合
15:00 トヨタ宮田工場着
工場見学
16:30 トヨタ宮田工場発
(車中にて意見交換)
17:30 博多パークホテル着
18:00 情報交換および意見交換
19:00 懇親会
21:00 閉会・解散
会費・参加費 1,000円
・懇親会費5,000円
・宿泊費 (6,180円/1人1泊)
各自負担
(事業委員会、研修委員会協力)

- ・参加費(昼食費含む) 2,000円
- ・懇親会費5,000円(都合により前日に会場にて行います。)

◇婦・試験委員会(政野委員長)

平成6年度技術士第二次試験

受験申込者数

区分	平成6年度	平成5年度
全国受験申込者	21,308名	18,187名
福岡受験申込者	1,646名	1,369名
福岡建設	1,044名	913名
福岡建設以外	602名	456名
全国建設	12,913名	11,511名
全国建設以外	8,395名	6,676名

◇婦・事業委員会(笠木委員長)

1. 第2回西日本技術士研究、業績発表年次大会

主催 (社)日本技術士会企業内技術士委員会
(社)日本技術士会九州支部

協賛 (社)日本技術士会中四国、近畿各支部
沖縄県技術士会、

九州地方技術士センター

企画 先端複合技術研究会、地域間交流研究会
九州支部事業委員会、
同青年技術士懇話会

(1)日時:平成6年7月30日(土)9:00~17:30

(2)場所:福岡市博多区博多駅前4-11-8

博多パークホテル

TEL 092-451-1151

(3)研究、業績発表 [9:00~14:00]

1)開会のことば

2)主催者のあいさつ

3)来賓のあいさつ

4)研究、業績発表

(分科会:2会場、15件の予定)

(4)基調講演 [14:00~15:00]

(5)パネルディスカッション [15:00~17:30]

主題 ①企業内技術士の活性化

②技術士業務の領域拡大

◇セイ・育成委員会(久保田委員長)

平成6年度技術士第二次試験能力育成講座

日時:平成6年4月16日(土)9:00~17:00

講習内容:受験合格のための研修方法総合

指導、経験問題論文テーマ選定
纏め方、個人指導必須専門科目

研修方法

前期添削

受講者 申込者89名 出席者83

講 師 41名

◆ 部会だより

◎第6部会と他部会共催見学会

見学日 平成6年6月10日(金)

見学先 午前(10:00~12:00)

九州工業大学情報工学部(飯塚市)

・キャンパス実習場

・新設の総合技術センター

同センターの目玉

超LSIの設計～製造までの

マイクロ化設備

午後(13:00~14:30)

トヨタ自動車九州(福岡県宮田町)

・工場見学

<次ページにつづく>

<支部・センター委員会・部会だよりつづき>

◎海外技術研修見学会

日時:平成6年7月6日~同9日(土)の3泊4日

場所:韓国南方地域(釜山・大邱・慶州の
3都市近辺)

(博多港~釜山間を
JR九州ビートルⅡで往復)

内容:海外における建設現場の見学・研修
及び市内視察

ノ 視点:①韓國の大規模下水処理場建設工事
現場の見学

②韓国における地下鉄工事現場
(大邱市) の見学

③釜山港でのコンテナ埠頭設備の
研修見学

④韓国の南部都市の視察研修

会費:旅費(貸切バス代を含む),宿泊費,
食費,港税,通訳ガイド料等で1人当たり
6~6.5万円程度

(別に出入国カード作成費3千円他
若干の接分負担)

声の広場 地区活性化だより-15-鹿児島

技術士の社会的評価の向上策について

上里 光夫(鹿児島・代表幹事・建設)

技術士法が制定されて約40年、この間の合格者は34,000人の中で技術士会に入会している者は僅に約4,000人であるという。受験者数約22万人という難関の合格者でありながら何故か技術士になってから技術士会に対する魅力は誠に冷たい。技術士という資格は獲得したが、その社会的評価については技術士自らが自助努力して社会貢献している結果であり、技術士会の活動の影響とは若干縁遠い感じである。それがそのまま会の入会に反映しているとしか思えない。

例え技術士法の職業法化が困難でも技術士の社会的評価の向上策については今少し検討の余地はないのだろうか。例えば技術士の在籍を条件とする各種登録制度の運用が眞に技術士の権威の保護に役立っているのか。

また、地方在住技術士に関係ある地方公共ノ

ノ団体や大手関連企業等に対して技術士が正しく認識されているのか。少なくとも合格者に対する地位給与の格上等の方途はどのように進められているのだろう。その事が即技術士の社会的地位の向上そのものではないだろうか。しかしながら、これらの問題は自らの事として自らは行えないことであり、この事を会で採り上げられるべき問題である。また、技術士補制度の運用にしてもせっかく難関を突破合格しても何等実益の伴わない現行制度では受験意欲も年々低下して来るばかりではなく技術士の資格評価をも低下させる要因になるのではないか最も恐れるものである。これらの基本的な問題に対する会の活動の在り方が今日程重要になっている時はないようである。数は力であるという考え方による会員増強策は一にかかるて技術士の社会的評価の向上策にかかっているといえよう。



◇ 会員実務研修会および合格祝賀会

小松 栄一（北九州・経営工学）

平成6年2月26日(土)、福岡市福岡商工会議所において、会員実務研修会(55名参加)および二次試験合格者研修会(30名参加)が実施され、そのあと、合格者祝賀会(75名参加)が盛大に開催された。

1. 会員実務研修会 (13:00~17:00)

定刻、笠木事業委員長の司会進行によって始められ、原井支部長のあいさつがあり、引き続いて次のように3つの講演があった。以下にその概要を報告します。

(1)機能にならうレアメタルのいま・むかし

講師 (株)三井ハイテック人事教育部長
技術士(金属)工博 霜鳥 一三 先生

文明社会を支える材料、即ちポリマー・セラミックス・メタル各分野の重要性ということから、資料とOHPで話が進められた。

レアメタルは①資源が少ない②精錬が困難③天然では低品位④用途が質ねらいに限られるなど、ハイテク産業のビタミン剤といわれるよう、ベースメタル同様重要である。

キー技術としての”高純度化”に触れて、例えば99.999%は5N(ファイブ・ナイン)、ppm、ppbについても北九州市の人口などを例にとって、分かり易く説明された。

高融点メタル応用の変遷について、ランプの発明に京都・清水寺の竹のカーボンが使われたこと、マツダランプはエジソンに薦められて、現在の小倉にある北九州工場を買収して電球工場を作った。フィラメントにタングステン(W)を使うようになったが、高融点のために高純度が必要で、現在40ワットの電球には7.2ミリグラムのWが使われている。しかしWメタル業界は150億程度の規模である。

現在は、電子ビームで純度を上げた材料が半導体に使われその進歩を支えている。Wの他にもニオブ(Nb)、タンタル(Ta)、ジルコニウム(Zr)などのレアメタルがある。

最後に、レアメタルは特定の地域に偏在、日本が最大の消費地である。備蓄も大事だが、スクラップを都市鉱山と見做してリサイクルを推進することが、材料技術屋のテーマでもある、と締めくくられた。

このあと熱心な質疑応答があった。

(2)トルコを旅して

講師 技術士(福岡、水道・衛生)
安武 敏也 先生

ビデオを使って次のようなお話をされた。

- 平成3年11月、一般の観光とは違って、エルダーホステル協会のトルコ講座に参加。
- トルコの概念=シルクロードの終点。紀元前6500年からの歴史を持つ国。人口5100万人。面積は日本の2倍。国民の99%がイスラム教徒。インフレに悩む社会主義国家。
- トプカプ宮殿
- 考古学博物館—アレキサンダー大王の石棺
- シュレイマニエ・ジャミィ(モスク)
- 375年に建設された水道橋
- 地下宮殿 ◦ ハレム
- 時間の都合で残りは次回にお見せしたい。

(3)中央情勢の問題点と業務開発の取り組み方

講師(本部)常務理事 谷嶋 操 先生

(社)日本技術士会の本部組織の説明から始まり、資料に基づいて、最近の1年間における主な動き、技術士業務の開発・海外業務の開発など、自らの体験を含めて熱心にお話して戴いた。そのうち2~3をあげてみると、

- 業務開拓は、国の施策に基づいた事業を考えることが大切である。
- 海外—例えばJICA—通産省自体が予算をもっている。
- 各省が、ODAの予算を使いつらなくなつた。JICAへ頼みこんできている。
- 調査と専門家派遣。フィーが全く違う。
国内と外国との比較、外国調査、帰国後調整
平成5年は2件、40日。 質疑応答。

2. 合格祝賀会 (17:00~19:00)

矢野副会長開会挨拶の後、支部長挨拶に続き、青山副会長の乾杯の音頭で始められた。

恒例の新合格者1分間スピーチも笑のうちに行われ、新旧の方同士の歓談や名刺交換など、いつもの和やかな風景が展開されて楽しいパーティになった。

定刻になり、水上副支部長の閉会の言葉、谷嶋本部常務理事の音頭で万歳三唱の後、名残を惜しみながら散会しました。

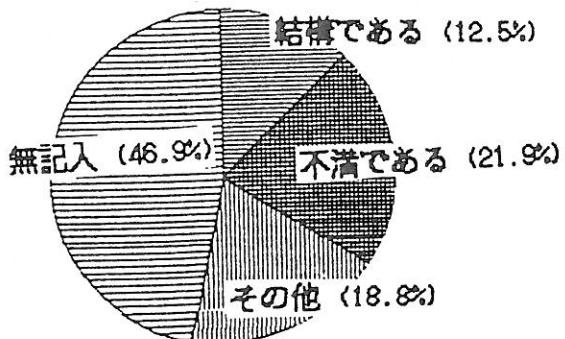
以上。

訂正

前19号(6ページ)掲載「第2部会会員アンケート集計結果」の報告において、誤りがありました。お詫びして次のように訂正いたします。

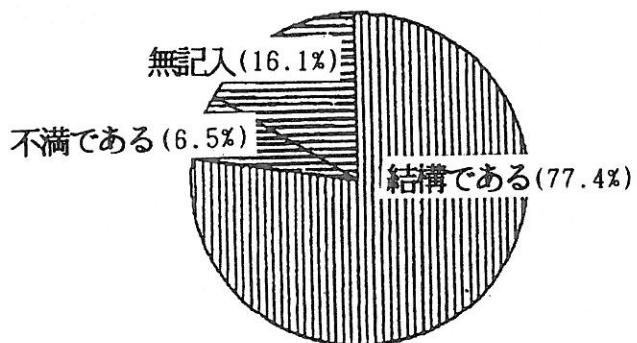
< 誤 >

- 2.これまでの部会のあり方をどのように思われますか。
イ.結構である。
ロ.不満である。



< 正 >

- 2.これまでの部会のあり方をどのように思われますか。
イ.結構である。
ロ.不満である。



行事レポート ◇ 第2部会主催 技術研修講習会

今西 肇（福岡・建設）

技術士会九州支部の技術研修会はいつも盛況です。今年も年度末（平成6年3月6日）にもかかわらず、44名の参加があり、福岡商工会議所ビル地下1階の会議室は満席でした。

今回の御講演は、濱砂敬郎先生（九州大学経済学部教授、図-1）”日本経済の現状について”と、青山次則先生（副支部長、熊本地区代表幹事、熊本技術センター理事長）の”新地球時代に向けた九州ハブ空港立地計画”と言った、いわば世界の中の日本経済および世界の中の九州がメインテーマでした。

濱砂先生はこのような大きなテーマについて1時間といった短い時間に、日本が置かれている立場の説明を、戦後の時代背景を交えながらわかりやすく説明して頂きました。

先生の御講演のうち、私が最も身近に感じた事柄は”産業国家と社会国家の相違”（図-2）でした。この図から皆さんは何を感じになりますか？

話は変わって、青山先生御講演の九州国際空港建設計画構想案は、まさしく民間提案型のビッグプロジェクト構想として、九州の激しい熱意が、熊本技術センターの先生方によってもたらされたものであることに、敬意を表します。

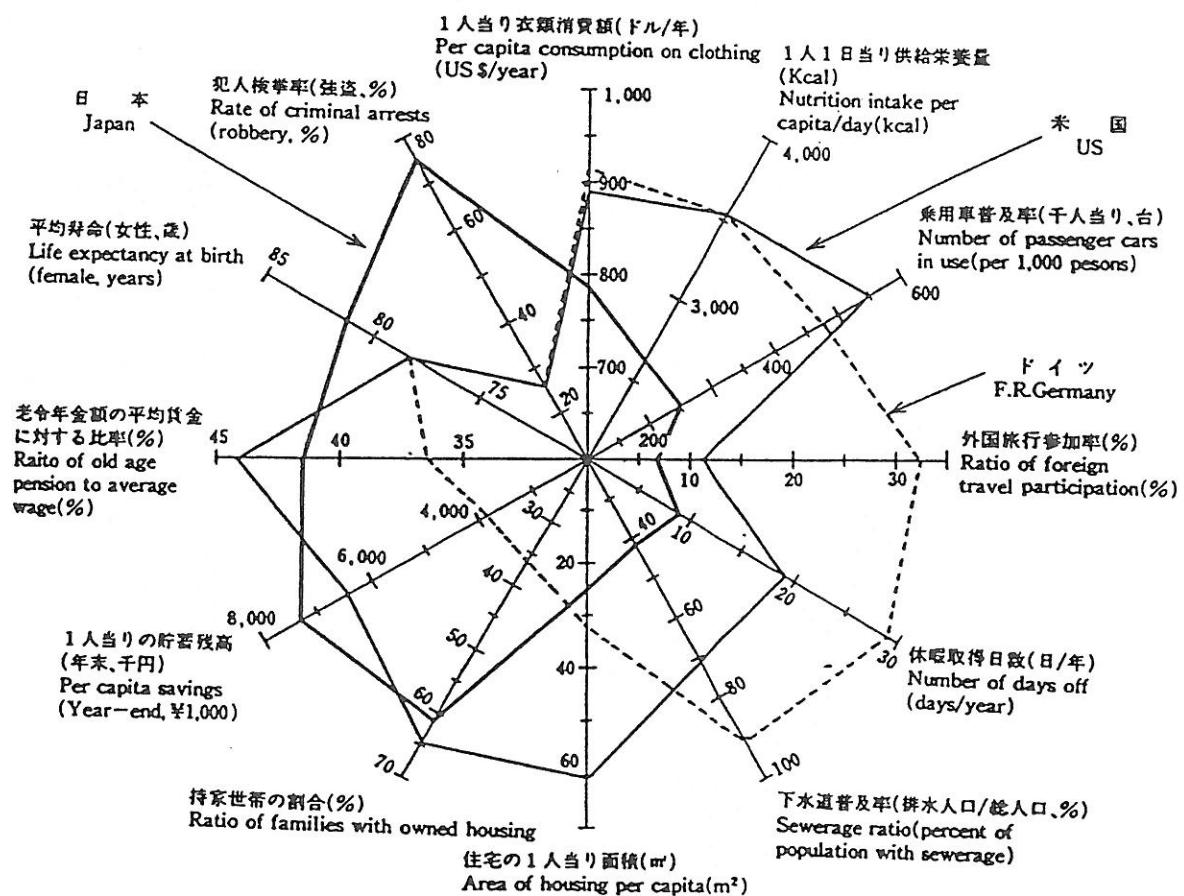
印象に残ったのは、九州国際空港の問題のみならずアクセス計画（図-3）をも含めた遠謀深慮があり、熊本はもちろん九州全体の問題として、これから経済活動についても触れている点は、今回の講演会に参加された技術士諸氏の積極的な質疑応答を引き出したものでした、改めて、技術士の担うべく役割と技術士会の存在価値を再確認した次第です。

<番外>何と言っても講演後の一一杯の麦酒と弁当による交流会は肩が凝らず、気軽に話し合えるのも九州ならではです。そうそう、定番の合唱団の”青い山脈”も必聴ですぞ！

以上



図一 1 濱砂敬郎先生



図一 2 産業国家と社会国家の相違 (日・米・独)

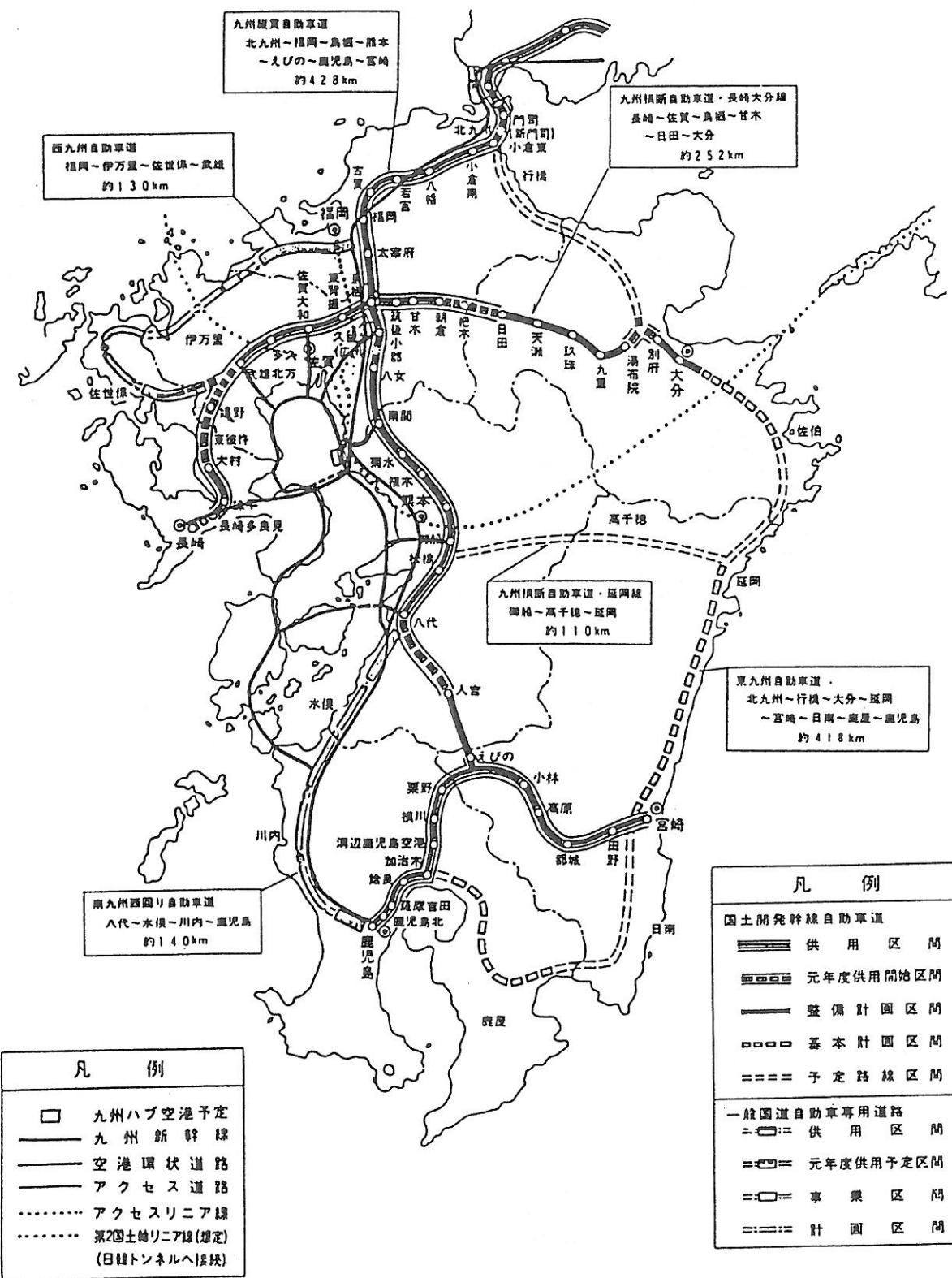


図-3 “九州ハブ空港” アクセス計画図



◇ 5年目に入った韓国生活

高橋 興一（北九州・金属）

すっかり御無沙汰致しました。その後皆さまお変わりございませんか。

皆さまのご活躍の様子はいつも送って頂く“技術士だより”によつてあれこれと想い廻らせています。時のたつのは早いもので皆まとお別れしてから既に4年以上の歳月が過ぎましたが、支部や皆さまから頂くお便りによって今も支部の一員であるという気持ちを深めています。

皆さまの中にはEXPO見物を始め色々なお仕事で韓国を訪問されて、その時の出来事や想い出を“技術士だより”に投稿されておられますので、それらの記事を大変興味深く読ませて頂いています。

皆さまの記されるように本当に韓国は身近な隣国です。私も当地に住み食事も仕事もこちらの方々と共にしている毎日ですので、私が日本人であることを忘れて過ごしていると言つても過言ではありません。1つにはどうにか片言ながら韓国語での日常会話が少し出来るようになり、生活の輪が広くなった故もあるかも知れません。今Sportsで人気のあるJリーグの外人選手の気持ちが分かるような気がします。日本に休暇で帰国している時に”何時あちらに戻られますか”と尋ねられますが、ついうっかり”明後日かえります”と言って後で「しまった。今帰っていたんだ」と思うことがあります。住めば都でしょうね。

この様に記すとなにか楽天家のように想われるかも分かりませんが、しかし初めのうちには苦労の連続であったことを付け加えておきましょう。土曜・日曜は1日何もするあてもなくApartの周りの散歩ぐらいで、退屈で苦になることもしばしばでした。助けがなくてはBusにもTaxiにも乗れない自分を情け無く感じました。

さて、此處でいま勤務している三星重工(株)の概略を記しておきましょう。此の会社はSAMSUNG グループの1つの工場で釜山から西30kmの昌原市 (Chang Won)にあります。機械・重装備・造船の3事業部にわかれ全員で約10000名位でしょうか。私はその中の機械事業部素材工場(鉄鋼)の顧問です。素材工場では月産1000Ton の鉄鋼品を生産してその60%位を日本へ輸出しています。

現在、三星重工(株)には23名の顧問がいますが、SAMSUNG 全体では100名を越えるでしょう。これには年120日(月10日)の人から常駐の人を含み、日本人以外の人も含みます。もし、この方面に来られる方は是非お立ち寄り下さい。

次に韓国での生活について少し記します。

顔や体つきは似ていても、韓国には当然国としての伝統と文化があつて極端にいえば日本と全く違ったものと思えます。例えば皆さんが存じのように食生活についても違っています。学者によれば、日本は箸の文化であり韓国は匙の文化であるという方もあり、食器の扱い方にも違いがあります。これは理屈ではありません。

また、韓国の方々の考え方を我々からみれば個性的であり、日本人のようにGroup的な動き、即ち自分の意見よりもGroupの意見を優先して考え、その一員として行動するという姿と少し違った行動を感じます。日本でキムチを食べると我々でも何か違った感じがしますし、こちらで日本食を食べるとやはり少し違った感じがします。

例えば、日本では犬はワンワンと吠えると思っていますが、韓国の方の耳ではモモンと吠えているとなるのです。私が韓国の大の吠えるのを聞くとやはりワンワンと聞こえるので犬の声は同じものなのです。従つてその点をよく理解してつきあい、お互いの伝統や文化を尊重しあう事が大切と思いますし、今の私は私なりに理解して日常の仕事を行っているつもりです。こうなれば相手の考え方も立場もよく理解できて殆ど違和感は生じません。これからいろいろな関係での交流を持たれる方も多いと思いますが何かの参考になれば幸いです。

私は3箇月に10日の休暇で帰国します。次の帰国は6月の終わりか7月の初めになると思います。北九州地区の例会で7月に私に講演のご希望があるように拝見致しましたが日時が合えばと思っております。

桜の季節も過ぎ、いよいよ新緑の季節を迎えます。皆さまどうか健康に留意されて益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(現住所 大韓民国慶南昌原市盤林洞
現代APT 210-1302) 以上

矢野 友厚（センター副会長・福岡・建設）

マカオ

中国への返還は1999年12月20日

○ 猫の額程のマカオ、大犯罪なきマカオ
広さが $4\text{km} \times 1.8\text{km} = 7.2\text{km}^2$ の広さ
に、なんと50万人の人が住む。1,000m四方に7万人、このうちポルトガル人3%，中国人95%その他2%。

一方国境は厳格にされているので、犯
罪を犯しても逃げられぬからコソ泥以外
の重大犯罪はないという。ナール程。

○ セントポール天守堂

街のド真中に天守堂が建てられたのが
400年前、今残っているのは、その前額部（表の部分）だけである。

その間戸の中に奇怪なのがある。マリア・キリストが彫ってあるのは当然だが、菊(日本)ボタン(中国)があり、この天守堂は日本と中国の合作ではないかといわれている。

○ 車検なしの車（殺人車）にビクビク

あのマカオの狭い所 (7.2km^2)に車が4万5千台もあり、しかも車検がないのでブレーキが利かぬ車が多いから注意しろとのガイドからの警告があり、衝突されて命は長らえたにしても“スミマセン”だけですませる中国式の簡便法で片付けられたら全くもって助からない。

○ お墓の持ち回り制度

マカオは前述のとおり狭少の地のため、現在の墓地を一寸たりとも広げることは絶対に不可能であるため、日本のような累代墓等の個人所有は禁じられ、お墓の交代制である。

具体的には、死後5年間土葬され、それがすむと直ちに掘り上げられ巨大な地下納骨堂へ移送、空いた墓地には新仏のご入来となる交代制度である。これでは靈界も押すな押すなの盛況であろう。哀れ末路は無縁仏のみかアーメン。

○ モンテの砲

その昔、ポルトガルの東洋貿易のうまみを羨望したオランダは、マカオを攻略すべく海軍を差し向けて。これに対抗してポルトガルは丘陵の上部台地に砲23門を据えつけたのがモンテの砲である。大砲は今なお、記念物と

セントポール天守堂



して遺されているが、兵舎跡には気象台が開設されている。

大砲が砲門を開いても、弾が当らぬでは防御の役に立たないが、ここの大砲台の天気予報は、サッパリ当らぬことで有名らしい。

○ 週2回開店の郵便局

これまたマカオの狭さが原因である。狭いから手紙を出すより直接行った方が早いというわけである。但し、心の悩み打ち明けや、外国への郵便はそのように参らぬので週2日の開店と相成っている。

○ 開店したが撤退寸前のデパート

マカオには昔からデパートではなく、単一商品を取扱う個人商店が軒を並べていた。これに目をつけた日本の業者がデパートを開店、最初は物珍しさと、物が何でも揃っているので重宝がられ、押すな押すなの盛況であったが、ドッコイ値切りが利かない。

一方昔からマカオは、商品すべて値切って買う習慣が定着しており、値切れないデパートはやめたというわけで個人商店依存に逆戻り、長年の習慣とは恐ろしいものである。

○ 個人国税のないマカオ

マカオには日本のサラリーマンみたいな国税（酷税）はない。それ故、国はどうやって賄っていけるか皆不思議に思う。まるで支那手品を見せられているようだがさに非ず、チャンとした財源があるのである。その答はカジノ。カジノの賭博の水揚げ額の30%がこの国の財政の90%を賄っており、<つづく>

残りは車輸入税（代金の180%）や、ホテルの利用税によるそうである。

○ カジノ

マカオには東洋一といわれる上述のカジノがある。ホテルリスボアを横に侍らした大娯楽場である。つい数ヶ月前、日本の老婦人が6,000万円の大当たりをやってのけたと添乗員に唆され、社員一同張り切って挑んだが遂に朗報なし、アア残念の至り！

○ ビルマのヒスイ（魔除け邪除け）

マカオの貴金属店ではビルマのヒスイを手広く加工販売している。店に入る前に添乗員から交渉の要領を聞く。いわく「値札の½を最初の値切り値段として交渉、更にそれから1割程度値引きさせて充分」と聞く。

あきれた!!何と標示額の18%と相成る。日本人にはこの駆け引きは無理だ。図々しさが不足している。それにもめげず女性社員何人かは購入していたようである。

男性社員は「折角買って帰っても、吾が家のババアからケチをつけられるのが落ち」というわけで敬遠組が多かった。

◎聖濟特区あれこれ

○ 特別区の生い立ち

1,977年、今回旅行の通過地となった広東省の深圳や珠海、それ以外では福建省の汕頭やアモイが経済特別区に指定され、中国側と外國企業との間に各種形態の合弁事業が成立した。外資導入はさらに拡大し、全国の沿岸地域に経済開発区や解放地帯が設置された。

なお、これら特別区と中国本土との間は金網で仕切られ通行チェックが行われていたが、中国車の乗用車だけはフリーパスである。

また、特区を、昔の租界ではないのか、資本主義復活の道ではないかとの批判の声も上がっているようである。

しかしながら社会主義の国で、かくも思い切った措置で経済の進展を図るという鄧小平体制と、その後継者グループの勇断には恐れ入るとともに、手品を見ているような感じであった。

○ 特別区にあったゴルフ場

中国にはゴルフ場は5ヶ所しかないそうでそのうちの一つが珠海地区であり、日本人が造った施設で、隣接地にはディズニーランドが作られていた。外資との合弁では、これら遊ぶ施設も重要であろう。

○ 特別区にある3LDKアパート、1戸建壳

特別区の工場従業員は、中国本土に較べて給与は極めてよく、工場作業員の男女平等給与から、共働きの場合、2人で年収3~4万元（50~65万円）になるらしく、一戸建壳住宅の最新住宅が40~45万元（650~800万円）であり購入可能という。特別区の地域内で入居した人々は吾が世の春を謳歌しているのではあるまいか。

○ 公営アパートでの悲劇

中国の人口問題は国家の最重要問題で、人口の年平均増加率を0.5%下げるため、子供は1人だけという政策がとられている。

もし公営アパート入居者が2人目を出産した場合、親は直ちに職を失い、アパートからは追放され、路頭に迷うことになるそうである。12億もの人口を抱える国は大変だ。

○ 鄧小平のひと褒めで一夜で3倍の地価

鄧小平が特別区にやって来て、合弁事業がうまくいっていることを褒めたら一夜で地価が3倍になったそうで、長老は、打ち出の小槌をお持ちなのだろう。（特区には私有地が認められている）

<次号につづく>

会員ニュース

◎春の余興（敬称略、以下同）

勲5等双光旭日章 青山 次則
(建設・熊本、副支部長、熊本地区代表幹事)

◎技術士会長賞

・山谷 三郎 (機械・福岡)
・大村 力 (電気・電子・北九州)

◎技術士会名誉会員

・空閑 忠雄 (化学・福岡)
・末永 實雄 (建設・福岡)

以上の方々がそれぞれ栄誉を受けられました。心からお祝い申し上げます。



会員ニュース



つづき

★九州地方技術士センター正会員、建設部門・福岡地区 前川住男先生が 平成5年8月28日に、また、日本技術士会九州支部正会員、経営工学部門・北九州地区 相馬昭夫先生が平成5年12月6日に逝去されました。謹んで おふた方のご冥福をお祈りいたします。

☆日本技術士会（九州支部）入会

-以下敬称略、受付順-

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連絡先)
長崎	正会員	神田 昭夫	電気電子	〒850 長崎市矢の平3-13-44
宮崎	〃	大島 徹矢	水道	〒880 宮崎市阿波岐原町火切塚1549-23
熊本	〃	金光 勝明	応用理学	〒860 熊本市黒髪4-12-44

☆九州地方技術士センター入会

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連絡先)
長崎	正会員	神田 昭夫	電気電子	〒850 長崎市矢の平3-13-44
北九州	正会員	野上 博光	建設	〒751 下関市秋根本町2-1-7 大浜ビル202
佐賀	正会員	前田 秀人	〃	〒840 佐賀市今宿町13-37
福岡	〃	田代 幸英	〃	〒811-41 福岡県宗像市泉ヶ丘1-18-7
熊本	〃	田崎 順二	〃	〒861-24 熊本県阿蘇郡西原町大字布田834-28
北九州	〃	右田 泰治	金属	〒811-42 福岡県遠賀郡岡垣町大字野間188-36
福岡	〃	力武 和夫	建設	〒815 福岡市南区大橋3-28-134

☆日本技術士会（九州支部）退会

北九州 正会員 相馬 昭夫 経営工学

☆九州地方技術士センター退会

福岡 正会員	中原 和典	水道
〃 鞍頸	寺西 高広	機械
〃 正会員	前川 住男	建設
北九州 〃	大津山徹夫	情報処理

☆会員勤務先（住所）および連絡先変更

- 犬東 洋志 (建設)
連絡先 〒856 長崎県大村市上諏訪町
846-1 TEL(0957)54-0030
- 藤永 正弘 (建設)
勤務先 〒840 佐賀市巨勢町大字修理田
793-1 TEL(0952)29-4731 FAX同
住所同じ
- 片岡 鉄蔵 (林業)
勤務先 〒862 熊本市水前寺公園28-30
ワコ一測量設計株
TEL(096)384-1171 FAX (096)384-1173

★社説を募る★

技術研究論文・技術士の主張・賛助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論会員の受賞などのニュースもお願いします。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。

(200字詰め原稿用紙2~3枚程度を目安に、支部事務局宛てご送付下さい。)

4. 永重 雅守 (建設)

勤務先 〒812 福岡市博多区博多駅東
2-14-1 前田建設工業株九州支社
TEL (092)451-1541

5. 竹内 良治 (水道、衛生工学、建設)
勤務先 〒806 北九州市八幡西区鷹の巣3-10-16 北九州市水道局浄水部水質試験所
TEL(093)641-5948 FAX (093)641-5998

6. 大宅 公一郎 (農業)

勤務先 〒840 佐賀市城内1丁目1-59
佐賀県農林部農村農地整備局農村計画課
TEL(0952)25-7125 FAX (0952)25-7284

<次ページにつづく>

7. 重信 純 (建設)
勤務先 〒850 長崎市恵美須町2-24
応用地質(株)長崎支店
TEL(0958)25-1472 FAX (0958)23-4227
連絡先 〒859-06 長崎県西彼杵郡長与町
岡郷482-14 TEL (0958)83-8346
8. 北村 敬司 (建設)
連絡先 〒811-01 福岡県粕屋郡新宮町
湊坂4-4-3 TEL (092)962-4634
9. 吉田 紘彬 (応用理学)
連絡先 〒862 熊本市小山町407-6
TEL (096)389-4220
10. 森田 徹 (水道)
連絡先 〒812 福岡市東区馬出1-1-19
(株)松本組 TEL (092)651-1031

◇ 会誌“技術士”最近号の主要目次

☆4月号

- 卷頭言
技術士と人材育成 / 新 欣樹
- 研修のページ
繊維強化熱可塑性(FRTP)の
最近の動向について / 秋山 勝雄
- 超微量分析—最近の機器分析
/ 太田 紘一

☆5月号

- 卷頭言
変革への対応 / 池田紀久男
- 私の技術士業務
新開発業務の経緯 / 前波 清隆
- 研修のページ
イオン交換法による重金属含有排水の
リサイクル / 和田 洋六

☆6月号

- 卷頭言
環境新時代 / 後藤 典弘
- 私の技術士業務
楽しきかな、技術士人生 / 中山 正夫
- ミニ特集・環境
脱フロン、エタンの代替洗浄の動向
/ 竹内 節三
- 環境コンサルティングの現状と将来展望
/ 西村 正直
- 雑用水施設の計画と運用 / 山崎 裕

11. 真鍋 和義 (水道)
勤務先 〒812 福岡市南区塩原3-25-3
福岡市南保健所衛生課食品係
TEL (092)541-2231
12. 高橋 保夫 (建設)
勤務先 〒810 福岡市中央区天神3-10-25
西日本開発コンサルタント(株)
TEL (092)724-8040
13. 小林 良一 (機械)
勤務先 〒810 福岡市中央区白金1-7-11
周防灘産業(株) TEL (092)531-2540
-受付順、敬称略- <会員ニュースおわり>

☆お詫び申しあげます！

会員名簿記載内容見直しの依頼について
総務委員長

平成6年度版の会員名簿作成の準備に入りました。

平成6年5月28日現在、会員各人の記録内容をご通知しますので、各人で検討され、追加訂正などがありましたら、その事項を朱記の上、折り返し事務局宛て連絡下さい。

なお、FAXが使える方は、出来る限りFAX番号を追加記入願います。

※追記

会員名簿は年1回の発行であるため、誤記載があっても1年間は修正されませんので、正確な情報ををお願いいたします。以上

編集後記

- 今年は韓国訪問の年だそうである。折りもよし、7月に韓国研修旅行。成果を期待。
- 5月は降水が記録的に少ないとか、梅雨に期待したい。米不足に国民みんなが農家の気持ち。飢饉は1年限りと願いたいもの。
- 今年度末までの支部(割当)目標、技術士会員増あと37名。いつも会誌「技術士」の内容をPRしています。乞う入会！(小)

発行：(社)日本技術士会・九州支部

九州地方技術士センター

〒810 福岡市中央区大名1丁目

12-61 新天ビル402

☎ (092)771-9534

FAX (092)731-8274

編集：九州支部・総務委員会